

第18回

ボランティア団体援助金のご案内



コープおきなわ

2025年1月6日

(実施要項)

**2025年
2月7日(金)
必着**



支援の対象も活動拠点
も沖縄県内にある団体

2024年(第17回)、ボラン
ティア団体交流会の様子。
ハイブリッド(会場+オンライ
ン)開催しました

児童福祉に関わる団
体や社会的課題に取り
組む団体

援助希望の団体を募集します

(詳細は次ページの募集要項をご覧ください)

ボランティア団体とは

ここでいう「ボランティア団体」は
NPOなどの認証の有無を問わず
支援活動を行う団体という

活動歴が2年程度
以上経過した団体

任意団体も対象
NPOなどの認証の
有無は問わない

5回まで援助
を受けられる

コープおきなわから援助金をうけると

- ① 援助金は1団体5万円を寄付金としてお渡しします
- ② 活動を通して、地域や対象者に還元できるものに活用いただきます
- ③ 援助を受ける団体は「援助団体交流会」への参加を義務とします

2025年4月5日(土) 10:00-12:30 コープおきなわ あっぶるタウン3F 組合員活動室

応募について

まずはお問い合わせ下さい。

- ① 問い合わせ: 098-879-1144 (月~金 9:30~17:00)
- ② 届け先 〒901-2588 浦添市西原1-2-1
コープおきなわ総合推進室 ボランティア団体援助金 係
- ③ 締め切り日
2025年2月7日(金) 午後5時締め切り
(郵送または直接お届け下さい)
- ④ 援助先は審査委員会で審査し決定します

※援助枠を超えて応募がある場合、資金力の少ない団体を優先します

- ⑤ 審査結果は3月に「援助先決定一覧表」を全応募団体へ郵送しお知らせます

- ⑥ 応募用紙は本要項または、
コープおきなわHPよりダウン
ロードしてください。



- ⑦ 所定の「ボランティア団体援助金要望書」
を以て申請します

※前回(第17回)の援助団体は最終頁を参照

ボランティア団体援助金の実施要項



1:趣旨

生協は、くらしをより良く豊かなものにしたいと願う人々が自らの意志で加入し、共通する願いを実現するためにつくりあげた「生活の協同組織」です。コープおきなわでは、「ともに創るくらしと未来」をさらに進めるため、年始めに組合員から募る「お年玉募金（ユニセフ募金を併用）」の一部を原資に、県内の児童福祉向上や社会的課題に取り組むボランティア団体を援助します。
※ここでいう「ボランティア団体」とは「NPO」など認証の有無を問わず、支援活動を行う団体を総称しています。

2:対象とする団体の基準

- ① 沖縄県内に拠点（事務所）があり、その対象も沖縄県内に向けて活動していること
- ② 児童福祉（障がい児、要保護児童、母（父）子家庭、子育て支援）に関わる団体や社会的課題に取り組む団体であること
- ③ 任意の団体を含めて対象とし、NPOなどの認証の有無は問わない
- ④ 会の活動歴が2年程度以上の団体であること
- ⑤ 同一の団体は、5回まで援助金を受けることができる
- ⑥ 援助決定団体は、4月に実施する「援助団体交流会」へ参加すること（会場またはZoom参加）
- ⑦ 援助決定の団体は、2026年1月中に援助金を使用した活動報告書を提出すること
- ⑧ コープおきなわの理念「ともに創るくらしと未来」に合致する活動を行う団体であること
 - ・ともに創る「知恵と力を寄せあい、一つひとつの願いを、ともに実現していきます」
 - ・くらし「人と人とのつながりやぬくもりのある、心豊かなくらしを創っていきます」
 - ・未来「人と自然が共生し、子どもたちがすこやかに育まれる、持続可能で平和な社会の実現をめざします」

3:援助金の使途

- ① 援助金は「寄付」とする
- ② 会の活動を通して、地域や対象者に還元できるものであること
 - ・使途については、「お年玉募金」で寄付して下さった方に伝えていくため、申し込み時の「援助金要望書」へ記入すること

4:援助金の額

1 団体あたり5万円（20団体を基本とし、募金額により変動することもあります）

5:援助金要望書

ホームページおよび生協の各店舗の“くみかつ掲示板”に掲載する

<http://www.okinawa.coop>

6:応募に必要な書類（提出された資料は返却できません）

- ① 所定の「ボランティア団体援助金要望書」をもって申請する
- ② 以下を添付資料として提出する
 - ・会則または規則などで「会の目的」が明記されているもの
 - ・会の活動を紹介する資料 ※写真添付の場合はコメントをそえる（返却できません）
 - ・前年度の事業報告書、収支報告書
 - ・本年度の事業報告書、収支報告書 ※経過月数分

7:選考の方法

- ① 審査委員会による書類審査で決定する
- ② 審査委員会は以下の委員で構成する
 - ・コープおきなわ理事会より数名（副理事長、常勤理事）
 - ・ボランティア団体を支援する組織の担当者（沖縄県社協より予定）

8:援助決定のお知らせと援助金の贈呈

- ① コープおきなわでの選考を2025年 3月上旬に実施する
- ② 「援助先決定一覧表」を全応募団体へ郵送しお知らせする
- ③ 「援助先決定一覧表」はコープおきなわホームページ・機関誌へ掲載する他、市町村社協など協力頂いた団体へ送付する
- ④ 援助金は、3 月末に銀行振り込みとする ※詳細は対象団体へ案内する

9:援助団体は「交流会」へ参加

- ① 援助を受ける団体は「援助団体交流会」への参加を義務付ける
開催日:2025年4月5日(土)10時~12時30分
会 場:コープおきなわ あっぷるタウン3F 組合員会議室(Zoom参加も可)
- ② 交流会は各会同士の交流とコープおきなわとの協同を築くために実施する
(※前年度の援助団体も参加を義務付ける)

10:ボランティア団体援助の申し込み方法と締め切り

- ① 締め切り日:2025年2月7日(金)午後5時までに必着（郵送または直接お届け下さい）
- ② 受付時間:月曜~金曜の午前9時30分~午後5時
- ② 届け先:〒901-2588 浦添市西原1-2-1
コープおきなわ 総合推進室 ボランティア団体援助金 係

11:問い合わせ先

コープおきなわ 総合推進室（担当:玉代勢、比嘉）
TEL:098-879-1144（月~金の9時30分~午後5時）

2025年 ボランティア団体援助金要望書

生活協同組合コープおきなわ 理事長 殿

下記のとおり、関係書類を添えて要望します

応募日	202 年 月 日		
応募団体名	(ふりがな)		
	(団体の設立年: 年)(会員数: 名)		
代表者名	役職名		
	氏名	(ふりがな)	印
住所 (書類送付先)	〒		
電話番号	携帯: TEL: FAX:		
メールアドレス			
団体の概況 および 活動目的			
運営サイクル	(会議開催— 月・週: 回)(行事取り組み— 年・月 回)		
申請を出された理由をお聞かせ下さい。	☆援助金はどのように活用したいとお考えですか?		
今年度 現在までの 活動内容			
今年度 現在までの 収支状況	収入総額(千円) 主な収入源 ① : 千円 ② : 千円 ③ : 千円	支出総額(千円) 主な支出費目 ① : 千円 ② : 千円 ③ : 千円	
次年度の 主な事業計画			

【以下の資料を添えて提出して下さい】

- ① 会則・規則 ②会の活動を紹介する資料 ③前年度の事業報告書・収支報告書
④ 本年度の事業報告書、収支報告書 ※経過月数分

第17回ボランティア団体援助金贈呈先

NO	正式名称	市町村	団体の活動目的・内容
1	恩納小学校よみきかせサークル 「おはなしばこ」	恩納村	恩納小での読み聞かせ活動、主に幼稚園での軍手人形「てんちゃん」づくり講習会を開催。助産師 櫻井裕子さんの性教育講演会開催
2	しうまむに伝承研究会	石垣市	「消滅の重大な危機にある」八重山方言しうまむにを次世代を担う子ども達に伝えることを目的に、八重山民話のしうまむに絵本、紙芝居を作成し、わらべうたとセットに伝承活動を展開
3	絵本サークル	本部町	子育て中の親に役立つ情報提供、交流、繋がり場の場所づくり、地域活性化等をめざし活動。町立図書館でのお話し会、小中高での読み聞かせ、町内マルシェで大型絵本の読み聞かせ等実施
4	ゆいまーるの会	那覇市	生活困窮世帯への食料品無料配布および高齢者の居場所提供。子ども世帯への食料無料配布を実施。牧志公園(隔週火、木)と安里一區公民館(毎月第2、第4土曜日)で定期開催。
5	How to SEI	那覇市	包括的性教育(性に関する知識やスキルだけではなく人権やジェンダー観、多様性、幸福な生き方)をまずはおとなが学び合うこと、話し合うことを目的に、月1回定例会開催。次年度は人が集まる場所への出前ハウトウセイも計画
6	宜野湾市うちなあぐち会	宜野湾市	会員間の交流を深め、生甲斐や楽しみのある生活を送るとともに、沖縄の文化である うちなーぐちの継承、普及活動に努める。24年度は、2015年うちなーぐちテキスト改訂発行予定
7	南部医療センター・こども医療センター ボランティア ひだまり	南風原町	南部こども医療センターの月～金の午前・午後に外来と小児病棟で活動。病気と闘う子どもやその家族が、より豊かで安らぎのある療養生活が送れるよう支援している。
8	安謝児童館母親クラブ	那覇市	児童館を利用する児童の保護者で組織。乳幼児向け講座、高校生ボランティアによる宿題教室(夏休み)等を実施。次年度も同様な計画を予定
9	石垣手話サークル碧の会	石垣市	聴覚障がい者と聴者の交流のなかで両者の社会的向上、発展を図り手話の普及を目的に活動
10	発育サークル まいれ	沖縄市	子どもの障がいや登校拒否など、子育てに悩みを抱えた親たちが地域と繋がるきっかけの場。
11	にしはらこども宅食かなまる便	西原町	毎月1回、ひとり親世帯や困窮世帯などの支援が必要な子どものいる世帯に夕飯用の手作りのお弁当を作って無償で提供(公的機関が届け)、その際に情報提供や困りごと等をお聞きし、必要な支援提案などアウトリーチ支援を実施。
12	東風平支え合い委員会	八重瀬町	地域の困窮世帯及び一人暮らしの老人世帯を中心に、見守りを兼ねて週1回の弁当配達(無料)実施。クラフト制作や外遊びなど子どもの居場所づくりも行っている。
13	ワクワクゆんたく食堂	那覇市	地域の活性化、食育をめざした地域みんなの食堂。コロナ禍中は配食を中心に活動。2023年4月以降は会食へ戻して活動中
14	ボランティアレインボー	北谷町	町内の児童館、無料塾、町内県立高校、困窮世帯、独居高齢者民生委員と連携し、食事を必要としている方々への配食活動を実施
15	沖縄本島かんもく親の会	糸満市	「場面緘黙」の啓発及び会員同士の交流や情報交換のために発足。一般向け講演会や全国の親の会との交流も計画

NO	正式名称	市町村	団体の活動目的・内容
16	沖縄口唇口蓋裂親の会 OPALS	宜野湾市	口唇口蓋裂を持つ親の経験や専門医の見識を、これから治療にあたる子の親と共有し、不安を少しでも減らし子育てを支援することを目的に活動
17	医療的ケア児ママの会 「cuddle」	宜野湾市	入院中のお子様に付き添い自身の食事がまともにとれない親御さんを中心に、県こども医療センター、琉大病院小児科病棟、ファミリーハウスがじゅまるの家へ毎月おにぎりをお届け。医療的ケア児ママの交流と情報交換の場も月2回開催
18	UITEMATE@沖縄	宜野湾市	「水難事故防止教育」を目的としたボランティア団体。県内全域の小中学校で講習会開催
19	北中城村の子どもの居場所を考える会	北中城村	子どもがあらひのままで過ごせる居場所づくりとして、定期的なプレーパーク実施を計画。市町村こども計画策定の勉強会開催も予定
20	フリースペースさくら	南城市	様々な理由から学校に行かない選択をした子どもと親の孤立を防ぐための居場所
21	八重山手話通訳を考える会	石垣市	聴覚障がい者のコミュニケーションライフを支援し、ともに住みやすい社会づくりと会員の親睦を目的に活動。聴覚障がい者への防災講座も開催
22	読み聞かせの会「ちいばっぱあ」	糸満市	糸満市米須小学校とこども園での定例の絵本読み聞かせの他、糸満市生涯学習課や町立図書館からの依頼による大型紙芝居も実施
23	石垣聴覚障がい者友の会	石垣市	石垣市と八重山諸島に住む聴覚障がい者の福祉と生活の向上、社会参加を目的に活動。定例会の他、出前講座、総合防災訓練等実施
24	越地公民館	今帰仁村	区民の福祉向上と地域活性化を目指して活動。近年は区外や県外からの移住者増加に伴い、地元とのかかわりが希薄になっていることから、交流を深める「世代間交流事業」を計画